

資料—5

尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期（案）

1. 先行プロジェクトの抽出（案）
2. プロジェクトの優先順位づけ（案）
3. 先行プロジェクトのとりまとめフォーマット（案）

平成 25 年 1 月 17 日

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

1. 先行プロジェクト（案）の抽出

各班が抽出したプロジェクトの中からメンバーが1年目から実施すべきと考えたプロジェクトを抽出し、全体討議で「先行プロジェクト（案）」を選定しました。

基本方針	大分類	プロジェクトの分類（26分類）	プロジェクト（55プロジェクト）	取組状況
水源地域を結び、拓く	I 人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用 (1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上 (1)-3 教育機関（大学等）との連携	【新規】 【新規】 【新規】
	II 組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 関連事業・組織との連携 (2)-2 リーダーの育成	【新規】 【新規】
	III 企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携（CSR 活動）	【既存】
	IV 斐伊川流域圏の連携	(4) 斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援 (4)-2 上下流交流 (4)-3 流域圏交流	【新規】 【既存】 【新規】
	V 情報発信	(5) 情報発信	(5)-1 情報発信の促進（ホームページ、カレンダー、案内標識） (5)-2 フィルム・コミッションの推進	【新規】 【新規】
流域圏の恵みの源を守り、育む	VI 環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動	(6)-1 森林の整備・管理 (6)-2 ボランティア活動の実施	【新規】 【新規】
		(7) 河川の水質の保全	(7)-1 水質の保全 (7)-2 ビオトープの整備	【新規】 【新規】
		(8) 生物の生息環境の保全	(8)-1 生息環境の保全（動物、植物） (8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	【既存】 【新規】
		(9) 環境学習会等の開催	(9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホタル） (9)-2 体験プログラムの企画・開催（間伐・農業体験）	【既存】 【既存】
	VII 景観保全・整備	(10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（ワコヤスト、のぼり） (10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除、竹ポットの管理 (10)-3 ダム湖周辺の植栽（サクラ、ドウダンツツジ）	【新規】 【新規】 【新規】
		(11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(11)-1 農地保全の仕組みづくり (11)-2 農村景観の向上（ミックスフラワー）	【新規】 【新規】
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	VIII 自然環境の活用	(12) 森林の活用・活用	(12)-1 森林の利用促進（森林セラピー・森の保育園）	【新規】
	IX ダム周辺の既存施設の活用	(13) ダム本体の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等） (13)-2 日本一プロジェクト	【新規】 【新規】
		(14) サイクリング施設の活用	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR（認定コース、ショートコース） (14)-2 レンタサイクルの実施 (14)-3 サイクリングコースの改善	【新規】 【新規】 【新規】
		(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面利用の活性化（水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験） (15)-2 さくらおろち湖の魅力発信 (15)-3 釣り利用（PR・大会・施設整備）	【新規】 【新規】 【新規】
		(16) 既存施設等の活用	(16)-1 芝生広場等の利用促進 (16)-2 農村研究施設の利用促進 (16)-3 ホースセラピーの利用促進 (16)-4 街道・登山道の活用（殿様街道、岩伏山） (16)-5 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等） (16)-6 新たな活用策の検討（星空観覧会、ドックラン等） (16)-7 イベントの企画・立案（交流、花火等）	【新規】 【新規】 【既存】 【既存】 【既存】 【新規】 【新規】
	X 歴史・文化の継承	(17) 神話の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR（マップ作り、関連ツアー）	【新規】
		(18) 郷土料理の継承・活用	(18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐、イノシシ料理等） (18)-2 モニターツアーの開催	【既存】 【既存】
		(19) 地域文化の継承・活用	(19)-1 古民家の活用	【既存】
	XI 新たな魅力・資源の発掘	(20) 新たな魅力・資源の発掘・活用	(20)-1 温泉の活用（スタンプラリー）	【既存】
		(21) 「地域全体」の発掘・活用	(21)-1 観光資源の再整理 (21)-2 地域体感ツアーの開催	【新規】 【新規】
		(22) 漁業資源の育成と活用	(22)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流）	【既存】
		(23) 特産品の開発・販売	(23)-1 特産品の開発・販売促進	【新規】
	XII 交流イベント（既存）の開催	(24) 湖面イベントの開催	(24)-1 ポート大会の活性化	【既存】
		(25) 湖畔イベントの開催	(25)-1 音楽イベントの開催 (25)-2 サイクリングイベントの開催 (25)-3 さくらおろち湖祭りの開催	【既存】 【既存】 【既存】
		(26) 周辺イベントの開催・継続	(26)-1 そばうち交流会の開催 (26)-2 トレイルランニングの開催	【既存】 【既存】

茶色字：先行プロジェクト（案）41件

2. プロジェクトの優先順位づけ

先行プロジェクトとして抽出したプロジェクト以外の各プロジェクトを3班毎に「取組みやすさ」と「目標時期」で整理し、全体討議でプロジェクトの優先順位（早期・中期・後期）を決定した。

なかなか手こわい	(4)-3 流域圏交流 (8)-2 外来種、害獣、害鳥対策 (10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除、竹ボットの管理 新規プロジェクト：3 既存プロジェクト：0 全 体：3		(1)-2 接客技術の向上 (7)-1 水質の保全 新規プロジェクト：2 既存プロジェクト：0 全 体：2
がんばれば取組める	(1)-1 人材の発掘・活用 (6)-1 森林の整備・管理 (12)-1 森林の利用促進 (18)-2 モニターツアーの開催 (2)-2 リーダーの育成 (8)-1 生息環境の保全 (16)-3 ホースセラピーの利用促進 (21)-2 地域体感ツアーの開催 (10)-1 ビューポイントの発掘・活用 (18)-1 郷土料理の継承・活用 新規プロジェクト：6 既存プロジェクト：4 全 体：10 (14)-2 レンタサイクルの実施 (15)-2 さくらおろち湖の魅力 新規プロジェクト：2 既存プロジェクト：0 全 体：2	(4)-1 下流域からの支援 (6)-2 ボランティア活動の実施 (16)-6 新たな活用策の検討 (7)-2 ビオトープの整備 (11)-1 農地保全の仕組みづくり 新規プロジェクト：5 既存プロジェクト：0 全 体：5	(2)-1 関連事業・組織との連携 新規プロジェクト：1 既存プロジェクト：0 全 体：1
取組みやすい（実施中含む）	(1)-3 教育機関との連携 (9)-1 環境学習会の開催 (13)-1 尾原ダムの魅力発掘 (16)-4 街道・登山道の活用 (21)-1 観光資源の再整理 (25)-3 さくらおろち湖祭りの開催 (3)-1 企業との連携 (9)-2 体験プログラムの企画・開催 (13)-2 日本プロジェクト (16)-5 利用ルールの策定・周知 (22)-1 漁業資源の創出 (26)-1 そばうち交流会の開催 (4)-2 上下流交流 (10)-3 ダム湖周辺の植栽 (14)-1 サイクリングコースの活用・PR (16)-7 イベントの企画・立案 (23)-1 特産品の開発・販売促進 (26)-2 トレイルランニングの開催 (5)-1 情報発信の促進 (15)-1 湖面利用の活性化 (17)-1 出雲神話の活用・PR (24)-1 ボート大会の活性化 新規プロジェクト：13 既存プロジェクト：15 全 体：28 (15)-3 釣り利用 (19)-1 古民家の活用 (25)-1 音楽イベントの開催 (16)-2 農村研究施設の利用促進 (20)-1 温泉の活用 (25)-2 サイクリングイベントの開催 先行プロジェクト 新規プロジェクト：22 既存プロジェクト：19 全 体：41	(11)-2 農村景観の向上 (16)-1 芝生広場等の利用促進 新規プロジェクト：2 既存プロジェクト：0 全 体：2 (5)-2 フィルム・コミッションの推進 新規プロジェクト：1 既存プロジェクト：0 全 体：1	(14)-3 サイクリングコースの改善 新規プロジェクト：1 既存プロジェクト：0 全 体：1
	早期に実施すべき（1～3年） 新規プロジェクト：26 既存プロジェクト：19 全 体：45	中期に実施すべき（4～6年） 新規プロジェクト：6 既存プロジェクト：0 全 体：6	後期に実施すべき（7～10年） 新規プロジェクト：4 既存プロジェクト：0 全 体：4

※黒字：既存プロジェクト
赤字：新規プロジェクト

「水源地域を結び、拓く」に係るプロジェクト

「流域圏の恵の源を守り、育む」に係るプロジェクト

「さくらおろちの魅力を磨き、活かす」に係るプロジェクト

先行プロジェクトとして抽出したプロジェクトは、取組内容（目的・場所・取組（全体））に加え、①１年目に取組むべき事項、②実施主体、③実施項目と役割分担等を取りまとめます。

他のプロジェクトと関連するものを事務局（案）として記載する。

さくらおろちを活性化する会での議論を踏まえた事務局（案）を作成し、『実施項目と役割分担』をさくらおろちを活性化する会のメンバーにアンケート調査する。